

[01_01]九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同 利用版表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470485>

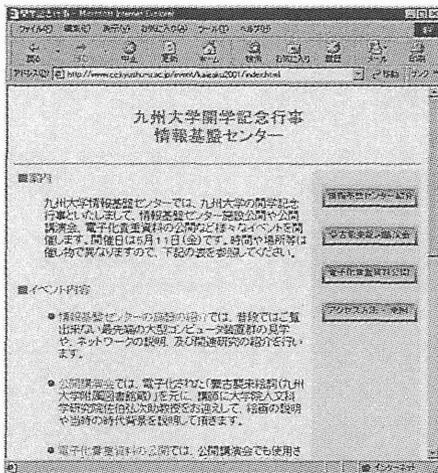
出版情報 : 九州大学情報基盤センター広報 : 学内共同利用版. 1 (1), 2001-07. 九州大学情報基盤センター
バージョン :
権利関係 :

開学記念日行事 学内施設開放

平成 13 年 5 月 11 日、九州大学の開学記念日に伴い開催される学内施設開放行事に情報基盤センターとして初めて参加しました。午前中にセンター施設の説明会および見学を行い、午後には電子化された貴重資料である「蒙古襲来絵詞」についての公開講演会を行いました。また 10 時～17 時の間、情報サロンを一般に開放し、計算機の自由利用と施設紹介および研究紹介パネルの展示を行いました。また、超高精細画像を閲覧するソフトウェア「GigaView(ギガビュー)」を情報サロンの PC に搭載し、附属図書館の持つ電子化貴重資料を開放いたしました。

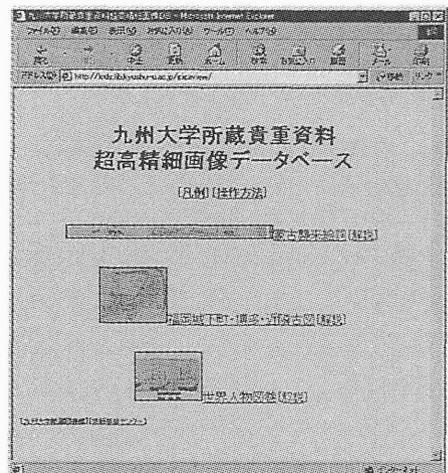
日時	内容
5 月 11 日 (金)	
10:00～11:30	(1) 施設紹介 多目的講習室にてセンターの概要説明後、スーパーコンピュータおよびネットワーク室の見学。
13:30～15:00	(2) 公開講演会「九大本『蒙古襲来絵詞』について」 九州大学大学院人文科学研究院の佐伯弘次助教授による九大本『蒙古襲来絵詞』についての講演。 Real System による講演会の放送。
10:00～17:00	(3) 電子化貴重資料公開 情報サロン PC の自由利用および GigaView による電子化貴重資料 (蒙古襲来絵詞など) の公開。

図 1 に開学記念日イベント案内の WWW ページを、図 2 に電子化貴重資料公開で用いた超高精細画像データベースの WWW ページを示します。



<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp/event/kaigaku2001/>

図 1: 開学記念日イベント案内



<http://lcds.lib.kyushu-u.ac.jp/gigaview/>

図 2: 超高精細画像データベース

(1) 施設紹介

一般の参加者をセンター3階多目的講習室に迎え、情報基盤センターの役割や機能についての説明を行いました。情報基盤センターの主要な機能は次の三つです。

- スーパーコンピューティング
国内の研究者に、スーパーコンピューターによる大規模科学技術計算や文献データベース検索を提供しています。
- 情報処理教育
九州大学の学生に、情報処理教育およびそのための施設を提供しています。
- ネットワーク
学内 LAN “KITE” の管理運営や、学外へのネットワーク接続の提供を行っています。

これらについての簡単な紹介を行った後、スーパーコンピューター実物とネットワーク機器室の見学を行いました。



図 3: 施設紹介の様子

(2) 公開講演会「九大本『蒙古襲来絵詞』について」

13時30分からセンター3階多目的講習室にて、九州大学大学院人文科学研究所の佐伯弘次助教授による九大本『蒙古襲来絵詞』についての講演会を開催しました。この「九大本『蒙古襲来絵詞』」は、九州大学附属図書館が所蔵する絵巻物のことで、宮内庁の所蔵する「蒙古襲来絵詞」の写本の一つです。佐伯先生は中世史を専門とされており、九大本「蒙古襲来絵詞」の資料価値や当時の歴史的背景などについて解説して頂きました。この講演会には約40名の参加者に来て頂きました。

附属図書館では貴重古文書の電子化の一環として、平成12年度に「九大本『蒙古襲来絵詞』」、「福岡城下町・博多・近隣古図」、「世界人物図巻」を電子化しています。これら貴重古文書の電子化には情報基盤センターも協力しています。そこで今回、電子化された貴重画像についての講演を行って頂こうと考えました。

ちょうど今年(平成13年)は、NHKの大河ドラマで「北条時宗」が放映されており、その舞台も博多という九州大学の地元に合ったものであるということで、「九大本『蒙古襲来絵詞』について」という題目で講演をしていただきました。講演会の様子を図4に示します。

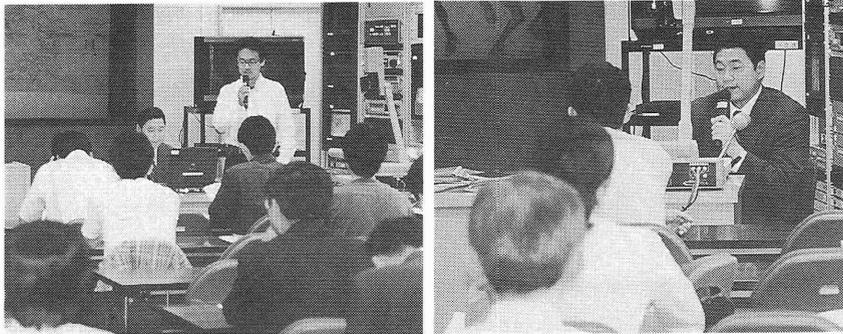


図 4: 講演会の様子

Real System による講演会の放送

講演会の様子を、インターネットを通じて放送する試みも行いました。放送には Real Networks 社のシステムを使用しました。その様子を図 5 に示します。

情報基盤センターの持つ学術情報発信サーバには、Real Server が搭載されています。ここが放送のサーバになります。ビデオカメラを内蔵した PC に Real Producer を搭載し、これを会場である多目的講習室に設置しました。Real Producer は、動画像をエンコードするシステムです。講演会の間、PC からサーバに向けて動画像を送信しました。利用者は Real Player を使う事で、このライブ中継を見る事ができます。Real Player は Real Networks 社のホームページ <http://www.jp.real.com/> から無料で入手可能です。

この放送を、附属図書館ロビーに設置したプラズマディスプレイおよび情報基盤センター 2 階の情報サロンに置いたプラズマディスプレイで放映しました。その他にも個人で接続して、講演会を遠隔地から見ていた方がいらっしゃいました。

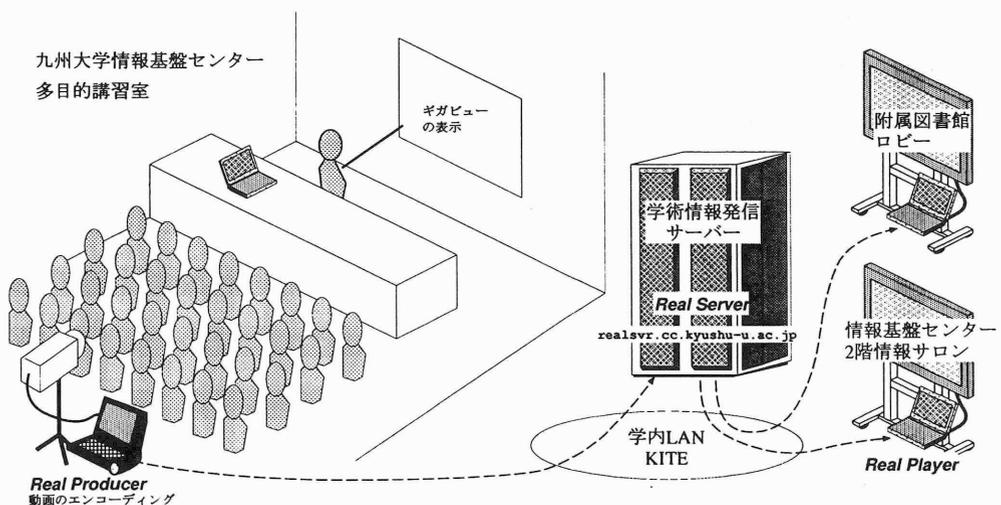


図 5: Real による講演会の放送

(3) 電子化貴重資料公開

10時から17時まで、情報基盤センター2階にある情報サロンを一般に開放しました。情報サロンにあるPCに、GigaViewをインストールし、附属図書館の持つ電子化貴重資料(蒙古襲来絵詞など)を利用して頂きました。その様子を図6に示します。

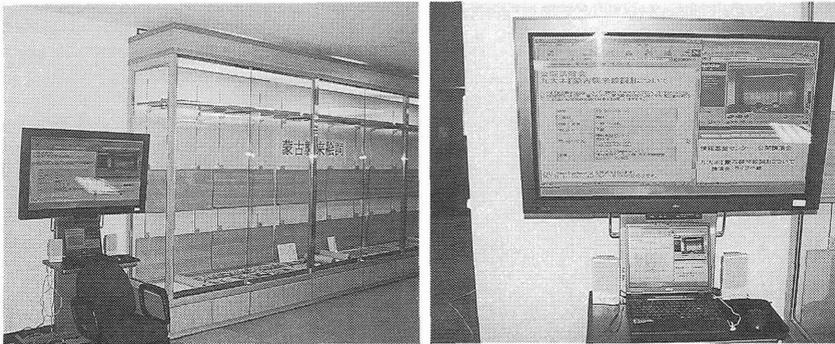


図 6: 情報サロンの開放

おわりに

来年度も何らかのイベントを行いたいと思っていますので、興味を持たれた方はご来訪ください。また、現在学内でのGigaViewの利用は可能です(学外からは利用できません)。こちらのソフトウェアを利用したいなどの要望がありましたら、情報基盤センターの方までご連絡ください。

情報基盤センター 広報室
info-room@cc.kyushu-u.ac.jp